



“ふるさとちば”のための政策推進を◆

# 答えて!! Q&A

## 滝田県議!!

ちば自民党  
政調会長が  
答えます！

**Q | 県道鎌ヶ谷本塙線の開通はいつ？**

**A | 令和5年度5.4kmバイパス一気通貫します!!**



## – 栄町と千葉ニュータウンが直結！ –

印西市と栄町の皆様、こんにちは。ちば自民党政調会長・たきた敏幸です。

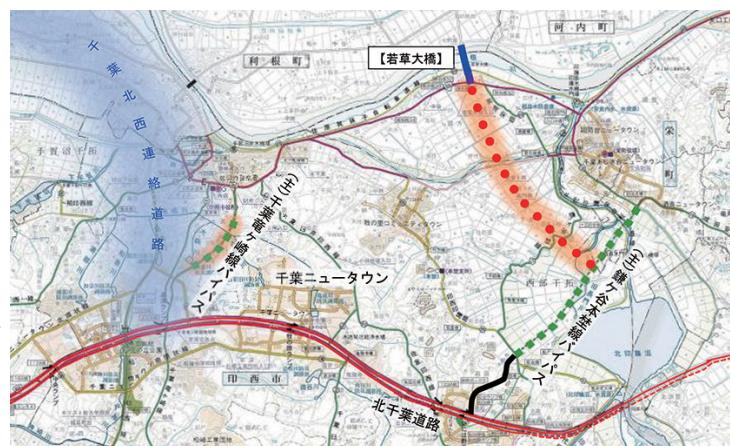
2007年県議初当選から取り組んで参りました「県道鎌ヶ谷・本塙線バイパス」（栄町酒直～印西市萩原間：5.4 km）が今年度いよいよ開通致します。

道路計画決定以降、千葉県と印西市・栄町との間で、用地買収や建設工事等の調整役を担ってきましたが、これまで御協力頂いた関係者の皆様に心から感謝致します。

鎌ヶ谷・本塙線開通により、栄町と千葉ニュータウン地区の道路アクセスは飛躍的に向上し、住民の利便性向上は元より地域経済への大きな波及効果も期待されます。具体的には、栄町から日医大北総病院や北千葉道路へ、ニュータウンから県立房総のむら方面が近くなります。

**Q | 若草大橋（R356以南）  
延伸線はどうなってるの？**

**A | 県道鎌ヶ谷本塙線への接続を  
進めます。**



## 若草大橋(国道356以南)道路ルート協議へ！印西・栄と茨城県南のアクセス向上を！

5期目県議滝田にとって「鎌ヶ谷・本塙線」開通は大きな結果です。しかしながら、次のテーマに進まなければなりません。

印西・栄地区は北千葉道路や国道356号など東西の道路整備は進められてきましたが、NT～木下・小林、NT～安食という南北の道路ネットワークが遅っていました。さらに、2006年に開通した若草大橋有料道路も千葉県側は国道356号でストップしているため、栄橋（我孫子市～利根町）における慢性的渋滞の解消にも至っていません。

また、経済発展著しい千葉NTと茨城県南とのアクセス向上を喫緊の課題と捉え、県議会本会議で何度も取り上げ、更に2014年と18年、印西市長・栄町長にも県庁に来て頂き「若草大橋延伸線（国道356以南）」道路計画の要望も行ってもらいました。

で、「本塙・鎌ヶ谷線」開通の目途が立った今が千載一遇のチャンスと考え、6月定例会・県土整備常任委員会において、県と印西市・栄町による「道路協議会」設置を提案し強く迫りました。

これを受け県幹部は印西市と栄町との道路協議会設置を決定。8月23日に第一回目が開催されました。今後、県・印西・栄の間で「道路ルート」策定へ向け基礎調査など具体的な協議が行われますが、地元県議として全力で取り組んで参ります。



# 6月県議会代表質問＆常任委員会質疑 － 政策で県政を動かす！－

ちば自民党政調会長として県政をリードする滝田敏幸県議（5期）は、6月県議会本会議で代表質問に登壇。21世紀以降、最多記録となる35回目の質問戦を展開。

注目のLGBTを含む「多様性尊重」条例や（北総鉄道）都心直結線の推進、北千葉道路整備、不登校児童・生徒の教育機会確保、外来水生植物ナガツルノゲイトウ拡大防止、AED普及など、県政における多くの重要課題を取り上げた。

また、7月20日には自民党成田空港推進議員連盟とともに国土交通大臣・同副大臣、二階俊博・自民党前幹事長に対し「都心直結線」事業化に関する要望書を提出するなど、文字通り「政策で県政を動かす！」に全力を尽くしています。

Q

「都心直結線」構想（北総線、東京駅乗り入れ）はどうなってるの？

A

成田空港50万回化（更なる機能強化）と併せ千葉県の最優先要望として国へ申し入れへ！

## 「都心直結線」事業化は千葉県の悲願!!

県議滝田は、ちば自民党政調会長として「都心直結線（北総線・東京駅乗り入れ）」の事業化を、成田空港の2030年50万回化による更なる機能強化と共に、千葉県最大の政策課題として取り組んでいます。

このことについては、熊谷俊人知事はじめ県幹部に再三申入れ、国への重点要望項目となっています。

一方、国では運輸政策審議会において「都心直結線」は「日本の国際競争力強化に資する鉄道ネットワーク・プロジェクト」（2016）として位置付けられ、2013年からは国の調査費も計上された。しかしながら、小池百合子・東京都知事就任以降、JRによる羽田新線構想が浮上したため現時点では、「都心直結線」事業化の先行き不透明な状態となっています。

都心直結線は、京成押上から新東京駅までを短絡線（バイパス）で結ぶ事業のため、工事区間は東京都となります。当然、建設に当たっては、国土交通省と千葉県そして東京都による協議会設置と合意形成が前提となります。



## 北総鉄道・更なる運賃値下げへの切札!!

私は県議会本会議において繰り返し「成田空港の都心へのアクセス向上」＝「都心直結線」は国策であり、千葉県にとっての悲願と発言してきた。もっと云えば、国際空港として世界トップクラスとなる年間発着数50万回化が実現する2030年が事業化へ向けた最後のチャンスと訴えてきた。更に「都心直結線の事業化は、北総鉄道の更なる運賃値下げに繋がる」と、私は確信しています。

ここは一般的な行政マターではなく、千葉県にとって完全なる「政治案件」と云う認識の下、ちば自民党政調会長として全力を尽くすことを約束します。



★毎日更新中・ブログと県議会動画もご覧下さい。

滝田敏幸

検索

<http://www.takinowa.com/>



H P

たきた敏幸 事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

### 滝田敏幸 PROFILE

1960年	印西町大森生れ、印西中、県立我孫子高校
1982年	同志社大学卒業
1999年	印西市議会当選（2期）
2007年	千葉県議会当選（5期）
2008年	印西市消防団副団長
2010年	県総合企画常任委員長
2011年	千葉県ラグビー協会会長
2013年	県総務防災常任委員長
2016年	農林水産常任委員長
2021年	千葉県監査委員
2022年	自民党（千葉県連）政調会長